



しゅなる かみさまの かすかな ほそい こえを きこう

1列主
19章 12節

地震のあとに火があったが、火の中にも主はおられなかった。火のあとに、かすかな細い声があった。

礼拝の時間には、目には見えなくても、驚くようなことが起きています。この奥義を知って礼拝をささげるなら、ホレブの山で預言者エリヤが聞いた神様のかすかな細い声を聞くようになるでしょう。

エリヤは偶像を取り除いて、偽りの預言者に勝つ大きな答えを受けた預言者でした。ところが、それゆえにアハブ王と王妃イゼベルから迫害を受けるようになりました。目の前の突然の事件のために落胆して苦しくなったのです。そのとき、神様がエリヤをホレブの山に呼ばれました。そして、礼拝を回復して、神様のかすかな細い声を聞くことができるようにされました。

礼拝の時間は、一週間あったすべての問題に答えを発見することができる霊的な祝福の時間です。神様は、礼拝の時間に牧師先生を通して講壇から神様のみことばを伝えてくださいます。そのとき、悩んでいる問題の答えを見つけることができます。エリヤのように、礼拝の時間を回復しましょう。そうすれば、神様のかすかな細い声を聞く霊的な祝福が回復するでしょう。また、問題に隠されている神様の絶対計画と、隠されている答えも見ることができるでしょう。神様のみことばですべての答えを見つける礼拝になることを祈ります。

きょうのみことば



神様、この時間、神の国が臨み、礼拝で神様のかすかな細い声を聞いて、霊的な祝福を味わうことができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



かいて
みよう

聖書には、神様のかすかな細い声を聞いたエリヤについて書かれています。どんな声だったのか、()を埋めて確認しましょう。

18 しかし、わたしはイスラエルの中に()を残しておく。

これらの者はみな、()にひざをかがめず、()に口づけしなかった者である。

20 エリシャは牛をほうっておいて、()のあとを追いかけて行って言った。「私の父と母とに口づけさせてください。それから、あなたに従って行きますから。」()は彼に言った。「行って来なさい。私があなたに何をしたというのか。」

21 ()は引き返して来て、一くびきの牛を取り、それを殺して牛の用具でその肉を調理し、家族の者たちに与えてそれを食べさせた。それから、彼は立って、()について行って、彼に仕えた。

1列主19章 18,20~21節

きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Handwriting practice area with a grid background and a small illustration of a church steeple on the left.



まことの サミット

I テサロニケ 5章 17節

絶えず祈りなさい。

私はどんな祈りをしていますか。祈りは、神様に私の時間を完全にささげることです。目に見えること、心に浮かんだ考えなど、すべてを祈りにつなげることが最も良い祈りです。私が特別に上手にできること、間違ったこと、悩んだり、失敗したことも祈りにつなげます。これを24時間祈りと言います。いまからはじめることができます。

このように、すべてを祈りにつなげる練習をしていれば、聖日に礼拝をささげる私の姿勢も変わります。神様がみことばを通して、私の悩み、問題全てに対する答えをくださることを発見するからです。朝の祈りや徹夜の祈りをする時に、神様がくださる霊的な力を受けようになります。そのようなレムナントは、目に見えない霊的な部分が活かされて、まことのサミットになります。

祈りでまことのサミットになることは、目に見えない大切な奥義です。みんながわかることでも、できることでもありません。いま24時間祈りに挑戦しましょう。ある日、神様が立てられたまことのサミットになっているでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、目に見えること、心に浮かぶ考えのすべてを祈りにつなげる霊的な奥義を、何よりもまず味わうことができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



いろを
ぬろう

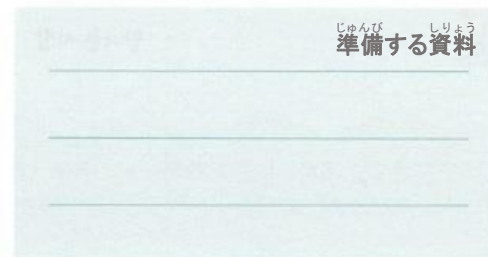
下の字に色をぬりながら、すべてのことを祈りにつなげる力を
くださいと求めましょう



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料





まことの いやし

使徒 3章6節

すると、ペテロは、「金銀は私にはない。しかし、私にあるものを上げよう。ナザレのイエス・キリストの名によって、歩きなさい」と言って、

今、この時代に生きる人々は、いろいろな病気を抱えて生きています。からだに現れる病気はもちろん、心と考 えも病気になっています。脳とたましいまで病気になってしまった人も多いと言われています。ある人は、この時代を「精神病時代」と呼びました。人々は、どこから始まったことなのかわからないまま、病気のせいで、死にたいほどの苦しみの中で生きています。次から次へと名付けられる新しい病名の数と同じぐらい、いろいろな治療方法が出てきているのですが、絶対に治せない病気の発見はあとを絶ちません。この病気は、はるか昔に、サタンのせいで神様から離れたことをきっかけに、12の霊的問題からはじまりました。霊的に病気になった時代が来たのです。ところが、人々はこれが霊的問題であることを知らず、世の中の方法で解決しようとしします。

私にも霊的に病気になった人々を生かす機会がくるでしょう。この時に備えて、神様が霊的問題のまことの答えである福音をくださいました。そして、この福音だけを考 える祈りをはじめなさいと言われました。そのような人だけが、ただ神様がくださるまことの平安と幸 せを味わって、まことのいやしのための霊的な奥義を持つことができるからです。まことのいやしのために、まことの霊的な奥義を備えましょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、この世のすべての人が霊的に病気になって苦しみの中にいます。ただ福音のみことば、ただ祈りによってのみ出てくる霊的な奥義を与えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



この世の方法では、なおすことができない精神病について知り、いやし宣教師として準備されるように祈りを始めましょう。

とうごうしつちようしょう 統合失調症

統合失調症とは、妄想、幻覚に苦しんで、めちゃくちゃなことを話したり、感情表現がひどく乏しくなったりして、社会に出て働くことが難しくなるような障害を引き起こすことのある病気です。治療を受けても改善の兆候がなかなかあられず、くりかえすことにより、症状が慢性化して、患者も家族も、とても大きな苦しみを受けます。最近では、症状の状態に合わせたきめ細かい薬物療法が評価されるようになってきました。統合失調症は、初期診断と継続治療に対して積極的な関心が必要な病気です。統合失調症ということばは、日本では2002年に精神分裂病という病名を変更して、使われるようになりました。精神が分裂する病気というのは、あまりにも人格否定的だということで、改名されたのです。私たちの思考や行動は、必要なひとつの方向に「統合」しているのですが、その「統合」の機能が何かの拍子に不調をきたすことによって起きる病気だという意味でつけられました。大変な症状と思われる幻覚や妄想のような症状も、健康な時にはそれを防いでいる「心（脳）の統合機能」が疲労して不調をきたした、回復可能な状態であるということを「統合失調」という病名は示しています。

きょうの でんどう

あ ひと 会う人

じゅんび しりょう 準備する資料



30 たすけが ひつような ところに れていき ほうししゃとして いこう！

もくようび

マタイ 16章 16節

シモン・ペテロが答えて言った。「あなたは、生ける神の御子キリストです。」

私たちが会うおとなのほとんどは、お金を最も重要だと思っています。ある人たちは、お金もうけのために生きています。私たちの周りにも、お金をたくさんかせぐことが将来の夢だという友だちも多いでしょう。

しかし、お金があればなんでもできるという時代に関わらず、お金では解決できない精神や心、肉体の病気に苦しむ人が、どんどん増えてきました。ときには予想もできないようなわざわいや事故、困難と危機に直面した家庭のために苦しむ友だちもいます。

神様を離れた人々は、キリストの答えを聞くことができずに生きています。そのため、目に見えないサタンと罪、のろいに勝つ力をもたないので、問題は起こらざるを得ません。それが霊的問題なのです。このような世の中に、神様はキリストを知っている私を霊的問題の解決を助ける霊的奉仕者として選んでくださり、世の中の人々を助けるレムナントとして遣わすことを決定されました。今日から神様とともにいるときに与えられるまことの力を受けましょう。毎日、福音のみことばと祈りで霊的な力を受けるならば可能です。そうすれば、ある日、この問題に陥っている友だちを助ける霊的奉仕者になっているでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、のろい、わざわい、死の中からキリストを信じて神の子どもにしてください。ありがとうございます。福音を味わってあかしする、証人になりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



旧約の時代に、霊的奉仕者として生きたレムナントのダビデがいました。ダビデの紙人形を作って、私もダビデのようにキリストによって友だちを助けることを深く考えましょう。（作り方は次のページを参考にしてください）



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



訳者注：

5月号のヨセフ人形の作り方です。

30日に作るサムエル人形も同じ作り方なので、参考に載せておきます。



01 かたちを切り抜きます



02 点線と実線をおります



03 斜線のはいている部分にのりをつけてはりあわせ



04 頭、体、腕、足を正しい位置にはたらきあがり！



レムナントの せいかつに かわろう

31

きんようび

ガラテヤ
2章 16節

しかし、人は律法の行ないによっては義と認められず、ただキリスト・イエスを信じる信仰によって義と認められる、ということを知ったからこそ、私たちもキリスト・イエスを信じたのです。これは、律法の行ないによってではなく、キリストを信じる信仰によって義と認められるためです。なぜなら、律法の行ないによって義と認められる者は、ひとりもないからです。

救いをお金で買うことはできません。どんなにたくさんのお金を出したとしても救われないのです。また、私の努力や熱心、行いによっても、救われることはありません。聖書は、救いについて、神様がくださった恵みだと語っています。

だれでも、キリストを通してのみ救われて、救われたすべての人は、神の子どもになります。そうすれば、サタンに勝って、わざわいを防ぎ、地獄の背景を解決されたキリストの力を受けて、神の子ども祝福を味わうことができます。神の子どもであるレムナントとして生きる日々が変わったからです。ここにもう一つ奥義を持つなら、さらにレムナントらしい生活がはじまるでしょう。それが、神様がくださる力を受ける聖霊の満たしの奥義です。これは、神様がくださる福音のみことばを握って、祈りの中に入るときに受けることができます。このようなレムナントは、私の現場と未来を生かす祝福を味わうことができます。神の子どもとして新しい私を造ってくださった神様に感謝しましょう。そして、私の生活がレムナントらしく変わって、聖霊の満たしの奥義によって、豊かになるように神様に祈りましょう。

きょうのみことば

きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんぶ
準備する資料

きょうのいのり

神様、のろい、わざわい、死の中からキリストを信じて神の子どもにしてください。ありがとうございます。福音を味わってあか化する、証人になりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

（訳者注：原本の「きょうのいのり」が、前日とまったく同じ祈りです。きょうのメッセージを握って、私の「きょうのいのり」を考えてみましょう）

どよう がつ にち がつごう
土曜は9月1日で、9月号なので、別のファイルになります。

